

OKAYAMA SHINKIN 2022

第110期 業務報告書

2021 年4月1日～2022 年3月31日



おかやま信用金庫



基本理念

おかやま信用金庫は、
金融を通じて地域社会の発展に尽くし、
皆様の豊かな暮らしの
パートナーとして努力します。

モットー

いつも、あなたと。

スローガン

- 「協力一致」
- 地元密着の徹底
- 競争力の強化
- 人材の育成

当金庫の概要

創	立	1913(大正2)年4月2日
本	店	岡山市北区柳町1丁目11番21号
店	舗	33店舗
出	資	金 17億7千万円
口	数	35,547,632口
預	金	5,847億円
貸	出	金 2,516億円
代理業務貸付残高		97億円
会	員	数 46,263名
役	職	員 数 525名

(2022年3月31日現在)

ごあいさつ



会員の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当金庫の業務運営に格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当金庫第110期の決算内容と業務概況をご報告申し上げます。

さて、2021年度の日本経済は、9月末に緊急事態宣言が解除されて以来、足元で人流も戻りはじめ、抑制されてきたサービス消費がリバウンドするなど明るい兆しが見えてまいりました。しかし、年が明けると新たな感染が急拡大し、再びコロナ収束が見通せない状況が続くこととなりました。また、インフレ懸念を背景とした海外金利上昇や、ロシアによるウクライナ侵攻

によって金融市場は不安定な状態が続いています。

岡山県内も同様に、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令により地元企業はその対応に迫られ、業種によって景況感が異なるなど、一部に強い下押し圧力をもたらし、持ち直しのペースは鈍化しました。

このような状況下、当金庫は「共感」をテーマとした中期経営計画「おかやましんきん“Empathy”プラン」は中間年度となり、新型コロナウイルス感染症の影響等も含め、お客様の事業価値・生涯価値の向上を目指し、金融サービスを超える付加価値の提供・バリューアップ型金融モデルを継続的に実施してまいりました。

中小企業のお客様には、コロナを契機に事業転換を模索している事業者様向けの「事業再構築補助金相談会」開催し、ウィズコロナ・アフターコロナを見据え「岡山県しんきん合同Webビジネス交流会『おかやまCREATION』」を創設しました。また、外部専門家とも連携した経営改善・事業再生支援、特に新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた事業者様向けの「緊急特別相談会」の開催など積極的に実施してまいりました。

また、個人のお客様には、専門スタッフによる資産運用コンサルティング活動、各種セミナーの開催等により、問題点・課題を解決するライフプランを提案し、生涯価値向上をサポートいたしました。

こうした活動の結果、2021年度は、本業業務での収益力を表すコア業務純益は913百万円、経常利益は1,223百万円、当期純利益は940百万円を計上いたしました。また、経営の健全性を示す自己資本比率につきましては、内部留保の増加に努め、自己資本の質を高めたことで10.64%を確保することができました。

今年度におきましても、おかやま信用金庫は、役職員一人一人の「人間力」を結集し、信用金庫の存在意義である「中小企業専門性」「協同組織性」「地域性」という3つの特性を活かしながら、地域金融機関としての存在を示し、より一層の社会的責任を果たしていく所存でございます。

今後とも格別のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

2022年6月

おかやま信用金庫

理事長 **桑田 真治**

貸 借 対 照 表

2022年3月31日現在

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)	百万円	(負 債 の 部)	百万円
現 金	4,825	預 金 積 金	584,700
預 け 金	153,187	当 座 預 金	15,399
コ ー ル ロ ー ン	18,000	普 通 預 金	362,991
買 入 金 銭 債 権	60,423	貯 蓄 預 金	2,616
有 価 証 券	217,832	通 知 預 金	48
国 債	27,366	定 期 預 金	188,670
地 方 債	59,779	定 期 積 金	10,138
社 債	80,302	そ の 他 の 預 金	4,835
株 式	554	借 用 金	73,241
そ の 他 の 証 券	49,828	借 入 金	73,241
貸 出 金	251,629	債券貸借取引受入担保金	26,134
割 引 手 形	3,237	そ の 他 負 債	1,867
手 形 貸 付	13,517	未 決 済 為 替 借	182
証 書 貸 付	224,809	未 払 費 用	261
当 座 貸 越	10,064	給 付 補 填 備 金	3
そ の 他 資 産	3,731	未 払 法 人 税 等	114
未 決 済 為 替 貸	129	前 受 収 益	126
信 金 中 金 出 資 金	2,390	払 戻 未 済 金	63
前 払 費 用	34	払 戻 未 済 持 分	9
未 収 収 益	881	職 員 預 り 金	433
そ の 他 の 資 産	295	リ ー ス 債 務	294
有 形 固 定 資 産	10,316	資 産 除 去 債 務	47
建 物	2,178	そ の 他 の 負 債	329
土 地	6,971	賞 与 引 当 金	285
リ ー ス 資 産	274	役 員 賞 与 引 当 金	21
建 設 仮 勘 定	370	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	320
その他の有形固定資産	522	そ の 他 の 引 当 金	45
無 形 固 定 資 産	60	再評価に係る繰延税金負債	607
ソ フ ト ウ ェ ア	37	債 務 保 証	4,144
リ ー ス 資 産	20	負 債 の 部 合 計	691,369
その他の無形固定資産	2	(純 資 産 の 部)	
前 払 年 金 費 用	549	出 資 金	1,777
繰 延 税 金 資 産	78	普 通 出 資 金	1,777
債 務 保 証 見 返	4,144	利 益 剰 余 金	27,613
貸 倒 引 当 金	△2,939	利 益 準 備 金	1,862
(うち個別貸倒引当金)	(△1,968)	そ の 他 利 益 剰 余 金	25,751
資 産 の 部 合 計	721,839	特 別 積 立 金	23,960
		当 期 未 処 分 剰 余 金	1,791
		会 員 勘 定 合 計	29,390
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△66
		土 地 再 評 価 差 額 金	1,146
		評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	1,079
		純 資 産 の 部 合 計	30,470
		負債及び純資産の部合計	721,839

損益計算書

2021年4月1日から
2022年3月31日まで

科 目	金 額
経 常 収 益	千円 7,209,379 千円
資 金 運 用 収 益	5,514,341
貸 出 金 利 息	3,138,856
預 け 金 利 息	213,389
コ ー ル ロ ー ン 利 息	36,102
有 価 証 券 利 息 配 当 金	1,185,528
そ の 他 の 受 入 利 息	940,464
役 務 取 引 等 収 益	1,301,601
受 入 為 替 手 数 料	456,974
そ の 他 の 役 務 収 益	844,627
そ の 他 業 務 収 益	315,456
外 国 為 替 売 買 益	374
国 債 等 債 券 売 却 益	279,428
金 融 派 生 商 品 収 益	9,165
そ の 他 の 業 務 収 益	26,488
そ の 他 経 常 収 益	77,979
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	19,821
償 却 債 権 取 立 益	384
株 式 等 売 却 益	37,504
そ の 他 の 経 常 収 益	20,268
経 常 費 用	5,986,142
資 金 調 達 費 用	152,189
預 金 利 息	78,939
給 付 補 填 備 金 繰 入 額	2,026
借 用 金 利 息	66,706
債 券 貸 借 取 引 支 払 利 息	2,540
そ の 他 の 支 払 利 息	1,974
役 務 取 引 等 費 用	507,614
支 払 為 替 手 数 料	119,804
そ の 他 の 役 務 費 用	387,810
そ の 他 業 務 費 用	9,199
そ の 他 の 業 務 費 用	9,199
経 費	5,270,655
人 件 費	3,357,237
物 件 費	1,728,085
税 金	185,332
そ の 他 経 常 費 用	46,483
貸 出 金 償 却	1,141
株 式 等 売 却 損	2,314
そ の 他 の 経 常 費 用	43,026
経 常 利 益	1,223,237
特 別 損 失	32,134
固 定 資 産 処 分 損 失	21,717
減 損 損 失	10,417
税 引 前 当 期 純 利 益	1,191,103
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	156,149
法 人 税 等 調 整 額	94,048
法 人 税 等 合 計	250,197
当 期 純 利 益	940,905
繰 越 金（当 期 首 残 高）	850,472
当 期 未 処 分 剰 余 金	1,791,377

第110期剰余金処分計算書

2021年4月 1 日から
2022年3月31日まで

科 目	金 額
当 期 未 処 分 剰 余 金	1,791,377,957 円
剰 余 金 処 分 額	993,302,703
普通出資に対する配当金	(年 3 %) 53,302,703
特 別 積 立 金	940,000,000
繰 越 金 (当 期 末 残 高)	798,075,254

上記のとおり報告します。

2022年6月

理 事 長	桑 田 真 治	理 事	板 野 次 郎
専務理事	梶 原 武	〃	野 崎 泰 彦
常務理事	三 宅 崇 文	〃	岩 坪 誠 次 郎
常勤理事	永 宗 稔 久		
〃	若 林 薫		
〃	高 橋 勝 則		
〃	石 野 真 二		
〃	吉 本 雅 彦		

前記各項の調査を遂げ其の正確なることを認めます。

2022年6月

常勤監事	赤 田 一 知	監 事	谷 川 巖
監 事	森 將 晏		

※監事 森 將晏は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事であります。

自己資本の額と自己資本比率推移(単体・国内基準)



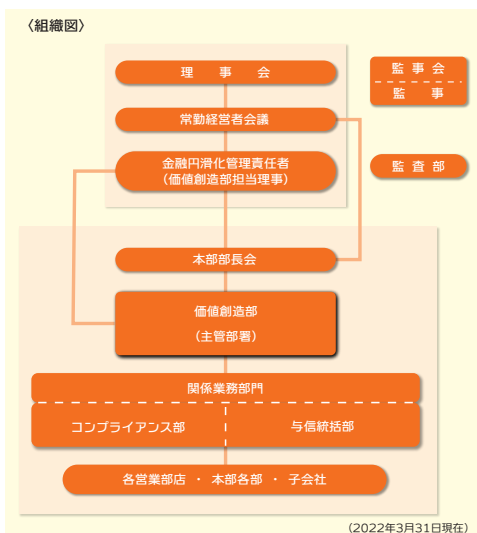
- 自己資本比率は、金融機関の財務体質の健全性を示す指標の1つで、国内のみで業務をおこなう金融機関は**4%以上**が必要とされております。
- 2021年度の当金庫の自己資本比率は、**10.64%**となり、「**経営体質が健全で問題がない金融機関**」に該当します。
- 自己資本は、「コア資本に係る基礎項目」と「コア資本に係る調整項目」で構成されており、「コア資本に係る基礎項目」から「コア資本に係る調整項目」を控除したものが「自己資本の額」となっております。

中小企業者等の事業についての改善または再生のための支援をおこなうための体制整備

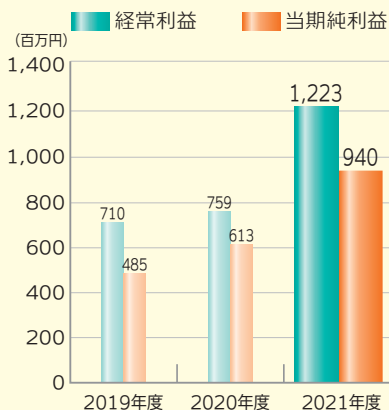
当金庫では、中小企業者のお客様の事業についての改善または再生のための支援を適切におこなうための体制を以下のとおり整備しております。

当金庫は経営改善計画を策定する意思のあるお客様から要請がある場合には、経営改善計画策定の支援を、営業部と価値創造部「ビジネスサポートグループ」にておこなっております。なお、貸付条件の変更などに際して、経営改善計画を策定した場合には、当該改善計画の進捗状況を適切に管理するとともに、必要に応じて経営相談・経営指導をおこなうなど、経営改善に向けた取り組みをおこなっております。

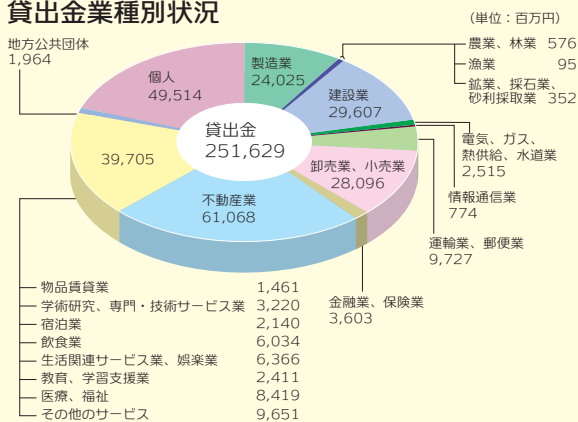
また、経営改善支援機能の充実を図るため、必要に応じて中小企業診断士、公認会計士、税理士、弁護士などの専門家の応援を仰ぎ、きめ細やかな経営改善・再生支援に取り組んでおります。



経常利益・当期純利益の推移

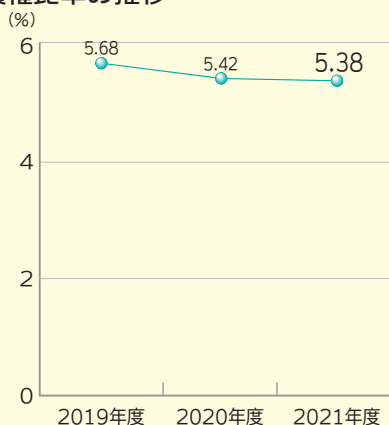


貸出金業種別状況

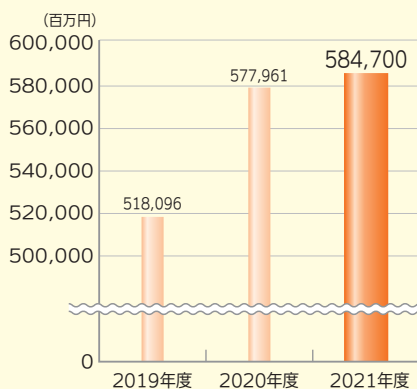


(注) 業種別区分は、日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

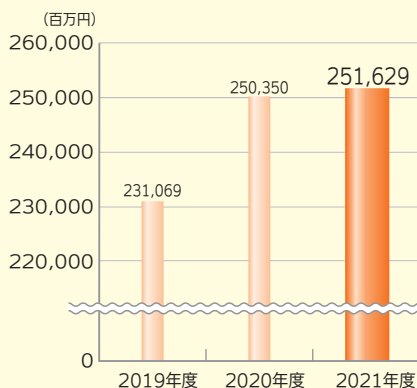
不良債権比率の推移



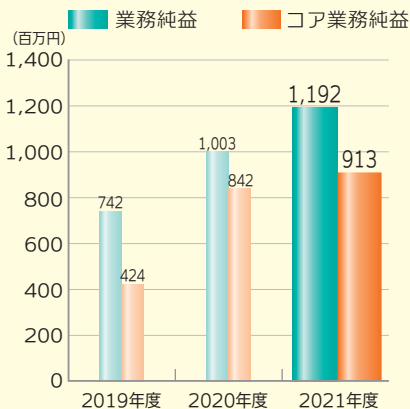
預金積金残高の推移



貸出金残高の推移



業務純益・コア業務純益の推移



最近3年間の主要な経営指標の推移

	2019年度	2020年度	2021年度
経常収益(千円)	7,508,843	7,664,364	7,209,379
経常利益(千円)	710,032	759,049	1,223,237
当期純利益(千円)	485,084	613,533	940,905
純資産額(百万円)	29,522	31,177	30,470
総資産額(百万円)	588,091	696,338	721,839
預金積金残高(百万円)	518,096	577,961	584,700
貸出金残高(百万円)	231,069	250,350	251,629
有価証券残高(百万円)	141,252	186,973	217,832

信用金庫法開示債権（リスク管理債権） および金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位：百万円)

区 分	2020年度	2021年度
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,320	2,167
危険債権	9,937	10,859
要管理債権	664	875
三月以上延滞債権	—	—
貸出条件緩和債権	664	875
小計(A)	13,922	13,902
保全額(B)	12,752	12,599
個別貸倒引当金(C)	2,742	1,967
一般貸倒引当金(D)	19	23
担保・保証等(E)	9,990	10,607
保全率(B) / (A)	91.60%	90.62%
引当率((C) + (D)) / ((A) - (E))	70.25%	60.43%
正常債権(F)	242,510	244,143
総与信残高(A) + (F)	256,432	258,045

- (注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」に該当しない債権です。
3. 「要管理債権」とは、信用金庫法上の「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額です。
4. 「三月以上延滞債権」とは、元本または利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」に該当しない貸出金です。
5. 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めの私算（金融商品取引法第2条第3項）によるものに限る。）、貸出金、外国為替、「その他資産」中の未収利息および仮払金ならびに債務保証見返の各勘定に計上されるものならびに注記されている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券（使用貸借または賃貸借契約によるものに限る。）です。
6. 「個別貸倒引当金(C)」は、貸借対照表上の個別貸倒引当金の額のうち、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」の債権額に対して個別に引当計上した額の合計額です。
7. 「一般貸倒引当金(D)」には、貸借対照表上の一般貸倒引当金の額のうち、要管理債権の債権額に対して引当てた額を記載しております。
8. 「担保・保証等(E)」は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額および保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
9. 「正常債権(F)」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」および「要管理債権」以外の債権です。
10. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」および「正常債権」が対象となる債権は、貸借対照表の「有価証券」中の社債（その元本の償還および利息の支払の全部または一部について保証しているものであって、当該社債の発行が有価証券の私算（金融商品取引法第2条第3項）によるものに限る。）、貸出金、外国為替、「その他資産」中の未収利息および仮払金ならびに債務保証見返の各勘定に計上されるものならびに注記されている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券（使用貸借または賃貸借契約によるものに限る。）です。

業 務 の 概 要

1 総代会

通常総代会

2021年6月29日（火）に開催しました、第109期通常総代会におきまして、下記の議案を付議し、原案どおり承認可決されました。

報告事項 第109期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）業務報告、貸借対照表、損益計算書および附属明細書の内容報告の件

決議事項

第1号議案 剰余金処分案承認の件

第2号議案 定款改定の件

第3号議案 総代候補者選考委員選任の件

第4号議案 長期間所在が不明である会員除名の件

第5号議案 不良債権処理のための会員除名の件

第6号議案 役員賞与支給の件

2 登記事項

2021年4月1日登記

2021年3月31日現在の出資口数および出資総額を次のとおり変更いたしました。

総口数	36,795,357口
-----	-------------

払込済出資総額	1,839,767,850円
---------	----------------

3 その他のおもな事項

(1) お客様のニーズに対応するため、下記業務の取扱いを開始いたしました。

○ 2021年4月1日

◆SDGs定期預金「おかやましんきん 未来へつなぐ2021」

◆岡山県プロフェッショナル人材戦略拠点との「プロフェッショナル人材紹介サービス」紹介取次業務

◆投資信託新商品（4商品）

- ・「デジタル・トランスフォーメーション株式ファンド」
- ・「ミローバ グローバル・サステナブル株式ファンド」
- ・「ゲーム&eスポーツ・オープン」
- ・「まるごとひふみ100」

○ 2021年5月21日

◆株式会社日立ハイテクが運営する「みんなの試作広場」への取引先製造業紹介業務

○ 2021年7月1日

◆「おかやましんきんベストパートナーVI」

◆「新型コロナウイルス感染症対策資本金劣後ローン」

○ 2021年9月9日

◆「株式会社出前館」への紹介取次業務

○ 2021年9月21日

◆保険新商品（1商品）

- ・「アフラックのしっかり頼れる介護保険」

○ 2021年10月1日

◆LGBT対応住宅ローン

◆投資信託新商品（4商品）

- ・「グローバル水素株式ファンド」
- ・「グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド（年2回決算型）」
- ・「脱炭素テクノロジー株式ファンド」
- ・「東京海上・グローバルペット関連株式ファンド為替ヘッジなし」

○ 2021年11月24日

◆「岡山県しんきん合同Webビジネス交流会“岡山 CREATION”」

○ 2021年12月1日

◆「おかやましんきんファジアーノ岡山応援定期2022 SEASON」

◆「おかやましんきんSDGs診断支援サービス」

◆補助金・助成金自動診断システム「Jシステム」

(2) お客様などを対象に以下の行事を実施いたしました。

- 若手経営者の会「おかやまPRODUCE」において定例会を計5回開催（2022年3月末現在会員数120名）



- 「2021年度 岡山県しんきんIT導入補助金オンラインセミナー」の開催（参加事業者数14社16名）
- 事業再構築を考えている事業者様向け「事業再構築補助金相談会」を開催（参加事業者数76先）



- 2021年度「おかやましんきん地域活性化支援制度 “エリアサポート”」の実施
58先の応募をいただき審査の結果、10先に助成金を進呈いたしました。



○ 「おかやましんきんSDGsアワード2021」の実施

108先の応募をいただき審査の結果28先が受賞いたしました。



○ 内山下スクエア、当新田支店、妹尾支店でのセミナー開催
趣味や健康、セカンドライフなど幅広いテーマのセミナー
を19回開催いたしました（参加者数延べ113名）

○ 「お客様向け資産運用セミナー」を4回開催
（参加者数延べ15名）

○ 「相続・遺言信託・事業承継等相談会」を3回開催
（参加者数15名）

○ 「第26回お取引先新入社員研修会」の開催
（参加企業19社39名）



○ 「がんを知る展」の開催

○ ファジアーノ岡山「おかやま信金デー」お客様ご招待

(3) 地域貢献活動などを下記のとおり実施いたしました。

- 私募債発行金額の0.2%相当額の物品などを私募債発行事業者様が希望した先に寄贈する「おかやましんきんSDGs寄付型私募債」において、2021年度は14先に発行し、学校や病院などに物品などを寄贈いたしました。



- 「信用金庫の日」の活動（清掃活動）

・ 6月1日～15日 各営業部店周辺を清掃



- 「信用金庫の日」の活動（献血活動）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため12月に延期して実施いたしました。

- ・ 12月14日 荘内支店
- ・ 12月16日 本店



○「エコペイバッグコンテスト」の開催

SDGs」に基づく地域創生支援事業推進実行委員会の主催により「エコペイバッグコンテスト」を開催し、621件の応募作品（エコバッグ）のうち



129作品が入賞となりました。

- 「おかやましんきんファジアーノ岡山応援定期2021 SEASON」のお預入総額が一定の金額に達したことから、「ファジアーノ岡山」にチーム強化資金として300万円を寄贈いたしました



(4) 店舗の統廃合をおこないました。

- 花尻支店を吉備支店へ統合し、吉備支店のリニューアル工事に伴い吉備支店を旧花尻支店(岡山市北区花尻きょう町17番地104)に移転

(5) 店舗の移転をおこないました。

- 東児支店を玉野営業部(玉野市築港一丁目8番17号)内に移転(店舗内店舗)

各種相談窓口

中小企業者等の金融円滑化に向けたご相談および苦情相談窓口の設置について

中小企業者からの新規案件や事業性融資資金に係る貸付条件の変更などに関する相談・申込み、また、住宅資金に係る貸付条件の変更などに関する相談・申込みに関する苦情相談を適切におこなうため、以下のとおり専用相談窓口を設置しております。

- 電話・メールによる専用相談窓口
 - フリーダイヤル：0120-173-550
 - 受付時間：平日 午前9時～午後5時
 - メールアドレス：enkatsu@okayama.shinkin.jp
 - 対応部署：価値創造部
- 各営業部店相談窓口
 - 設置場所：全営業部店
 - 窓口での相談受付時間：平日 午前9時～午後3時
 - 電話による相談受付時間：平日 午前9時～午後5時

「振り込め詐欺被害者救済法」に関する被害者専用窓口の設置について

「犯罪利用預金口座等に係る資金による被害回復分配金の支払等に関する法律」（いわゆる「振り込め詐欺被害者救済法」）が2008年6月21日に施行されました。これを受けて、振り込め詐欺などの犯罪被害資金を、当金庫の口座に振り込んだ方からの電話を受け付ける専用窓口を設置しております。この法律では、振り込め詐欺などの犯罪に利用された口座を凍結して、残っている犯罪被害金を、被害者の方へ分配する手続きなどが定められております。

最終的な分配までには、口座名義人の預金債権消滅手続や、分配金支払申請受付手続などをおこなうこととなっております。被害のお申出を承り、実際に被害資金返還手続がおこなわれる際に連絡を差し上げる取り扱いとなります。振込みをおこなった時の「振込控」「請求書」「チラシ」などは大切に保管してください。

- フリーダイヤル：0120-173-051
- 受付時間：平日 午前9時～午後5時
- 担当部署：コンプライアンス部

金融ADR制度への対応について

【苦情処理措置】

当金庫は、お客様からの苦情のお申し出に公正かつ的確に対応するため業務運営体制・内部規則を整備し、その内容をホームページ、パンフレットなどで公表しております。

苦情は、当金庫営業日（午前9時～午後5時）に営業店またはお客様相談室（電話番号086-223-7682）にお申し出ください。

証券業務に関する苦情は、当金庫が加入する日本証券業協会から苦情の解決業務などの委託を受けた「特定非営利活動法人証券・金融商品あっせん相談センター（FINMAC）」（電話番号0120-64-5005）でも受け付けております。

【紛争解決措置】

当金庫は、紛争解決のため、当金庫営業日に上記お客様相談室にお申し出があれば、岡山弁護士会岡山仲裁センター（電話番号086-223-4401）にお取次ぎいたします。また、お客様から直接お申し出いただくことも可能です。

証券業務に関する紛争は、当金庫が加入する日本証券業協会から紛争の解決のあっせんなどの委託を受けた上記「特定非営利活動法人証券・金融商品あっせん相談センター（FINMAC）」でも受け付けております。

お客様の声をお聞かせください。

お客様の当金庫に対するご要望や満足度など率直なご意見をお聞かせください。私どもは「お客様の声」を大切にし、より一層満足いただける金融機関へと成長できるよう努めてまいります。

お客様アンケートの回答は
こちらからお願いいたします。

<https://forms.gle/WBJu1BH9tB9RJvkM6>



ご入力いただきました個人情報につきましては、お客様の同意なく第三者に開示することはございません。

また、ご回答内容につきましては、当金庫の業務改善やサービス向上の目的にのみ利用させていただきます。

いつも、あなたと。
おかやま信用金庫



■本部

経営企画部	(086)223-7130
市場金融部	(086)223-7112
総務部	(086)223-7475
事務統括部	(086)223-7687
与信統括部	(086)223-7429
価値創造部	(086)223-7672
監査部	(086)223-7683
コンプライアンス部	(086)223-7129
◆お客様相談室	(086)223-7682

●中央地区

本店営業部	(086)223-7721
内山下支店	(086)225-0911
野田屋町支店	(086)223-0146

●東地区

旭東支店	(086)272-5261
瀬戸支店	(086)952-0063
東岡山支店	(086)279-0550
操山支店	(086)276-0777
松新町支店	(086)942-8888
藤原支店	(086)273-6611
平井支店	(086)277-4841
西大寺支店	(086)943-3800

●西地区

大元支店	(086)243-5111
中庄支店	(086)426-6222
藤田支店	(086)296-4611
妹尾支店	(086)282-1101
辰巳支店	(086)241-7756

●南地区

福島支店	(086)262-2201
青江支店	(086)231-5161
操南支店	(086)276-1234
浦安支店	(086)265-7800
三浜町支店	(086)262-1211
当新田支店	(086)241-6661
豊成支店	(086)263-1131

●北地区

金川支店	(086)724-0620
横井支店	(086)294-3456
西奉還町支店	(086)252-3178
津島支店	(086)252-8951
吉備支店	(086)293-0511

●玉野地区

琴浦支店	(086)472-0388
和田支店	(0863)81-8030
荘内支店	(0863)71-1515
東児支店	(0863)33-1531
玉野営業部	(0863)31-1711

(2022年7月現在)